

日本画材料・額装・表装
絵具屋三吉

〒231-0032
横浜市中区不老町 1-4-12 TEL 045-641-9318
営業日、営業時間は HP をご確認ください。
http://enoguya-sankichi.co.jp

公募展・グループ展・個展への搬入・搬出から地方への梱包発送、会場設営まで美術展覧会のことは全てお任せください。

ARTON

(有)アートン

TEL 0466-48-8488

〒252-0821
神奈川県藤沢市用田 211-4
FAX: 0466-54-9454
E-mail: arton.event@gmail.com
URL: https://www.arton.events

海外展への出品もお手伝いいたします。詳しくは web で。

1987年よりパリで開催のソシエテナショナルボザールへの輸出入代行を毎年おこなっています。パリでの個展をお考えの方、会場探しや輸出などについてはお問い合わせください。

横浜市民ギャラリー展覧会スケジュール 2021年2月～5月	※2020年11月20日時点の情報です。主催者の都合等により情報が変更されることがあります。
2月 PHOTO PAL CLUB 写真展 MOMENT [2階B] 2/2～2/7 10:00～17:00 ※初日13:00～、最終日～16:00 「MOMENT」それぞれの瞬間を捉えた写真愛好家15人の個展 主催：PHOTO PAL CLUB 橘学苑高等学校デザイン美術コース 15期卒業作品展 [3階] 2/3～2/7 10:00～18:00 橘学苑高等学校デザイン美術コース15名の卒業作品の展示をします 主催：橘学苑高等学校デザイン美術コース 第33回 川へのドア展 [1階] 2/3～2/7 10:00～18:00 横浜国立大学教育学部美術科「中尾誠教室」卒業生による展覧会 主催：川へのドア 国際舞台芸術ミーティングin横浜2021 I/O [地下1階] 2/13～2/14 ダンスと書道、ジャグリングのコンテンポラリーパフォーマンス 出演者：黒沼千春／岡本晃樹 有料 & 要予約 詳細は web を参照 https://www.chiharukuronuma.com/ 主催：黒沼千春 合同写真展 フォト'21 [全館] 2/17～2/21 10:00～17:00 横浜市中心に県内外19団体による写真展を全館で開催 主催：フォト展実行委員会 第43回 日書道会(公募) [全館] 2/24～2/28 10:00～18:00 ※最終日～16:00 漢詩、和歌、俳句を題材とした伝統的正統書。大作、小品、学生書初め等 主催：日書道会	3月 横浜国立大学美術科卒業制作展 [3階B] 3/2～3/7 10:00～18:00 ※初日14:00～ 美術科の学生による卒業制作および、ゼミでの作品を展示 主催：横浜国立大学教育学部 美術科 横浜国立大学教育学部書道ゼミ 卒業制作展 [2階A] 3/2～3/7 10:00～17:00 ※初日13:00～、最終日～16:00 横浜国立大学書道ゼミ学生による臨書と創作の卒業制作約30点を展示 主催：横浜国立大学 教育学部 書道ゼミ 日本丸洋画同好会 第12回作品展 [2階B] 3/2～3/8 10:00～17:00 ※初日13:00～、最終日～14:00 水彩、油彩、パステルで表現した風景、静物、人物画。約50点 主催：日本丸洋画同好会 主催 [1階/地下1階] 横浜市民ギャラリーコレクション展2021 うつし、描かれた港と水辺 3/5～3/21(3/15は休館) 10:00～18:00 入場は17:30まで 港と水辺をテーマとして、およそ1,300点の所蔵作品からより選りすぐった作品を展示。油彩、日本画、写真、版画など、また、横浜出身の日本画家・中田隆村の全所蔵作品3点を特別展示。 主催：横浜市民ギャラリー 第15回 アトリエ・ポルト展 [2階A] 3/9～3/14 10:00～17:30 ※初日12:00～、最終日～12:00 ポルトの仲間達による油彩、アクリル画60点 主催：アトリエ・ポルト 和光大学卒業制作展“cocoon” [3階] 3/10～3/14 10:00～18:00 ※最終日～12:00 型破りな個性が売りもの、和光大学芸術学科、渾身の卒業制作展 主催：和光大学表現学部 芸術学科 40年展 紡いできて、今。そして… [2階B] 3/10～3/14 10:00～16:00 ※最終日～14:00 国大美術科S54年卒生による絵画、陶芸、人形、刺繍、木など 主催：アートクラブ

ご注意ください！

この展覧会情報は、2020年11月20日に主催者からいただいた情報を基に作成しております。ご利用をキャンセルされた催事は掲載しておりません。

また現在開催予定の展覧会は、ガイドライン「新型コロナウイルス感染症拡大防止のための施設利用上のお願い(2020年12月1日改訂版)」を基に上限人数や開催時間を定めています。本ガイドラインは、対象となる期間が令和3年2月までとなっておりますが、感染状況の拡大によって、展覧会の開催日時や時間の変更、開催中止となる場合があります。

必ずご来館前に、当館のホームページが電話で最新情報をご確認ください。

横浜市民ギャラリー Tel.045-315-2828 https://ycag.yafjp.org/

公募

第44回 ヨコハマ日曜画家展

ヨコハマ日曜画家展は、1977 年から開催している日曜画家の皆さんの公募展です。出品作品を全て展示し 35 賞を授与します。

会 期：2021 年 5 月 26 日(水) ～ 5 月 30 日(日)
会 場：横浜市民ギャラリー
搬 入：5 月 22 日(土) 23 日(日) 10:30 ～ 14:00
場 所：横浜市民ギャラリー または 横浜美術友の会アトリエ

NPO法人 横浜美術友の会 横浜市中区桜木町 2-2 港陽ビル 6 階
TEL 045-651-9313 FAX 045-323-9841 https://yokobitomo.com/

彩の会・風景画展 [3階] 3/16～3/21 10:00～17:00 ※初日13:00～ 10号～30号の水彩や油彩の風景作品80点を展示します 主催：彩の会 第53回 主体美術神奈川 作家展 [2階] 3/16～3/21 10:00～18:00 ※初日14:00～ F100号程の大作、油彩を中心とした平面作品約50点 主催：主体美術協会 神奈川 第69回 書作展 [全館] 3/24～3/28 10:00～18:00 ※最終日～15:00 横浜市文化観光局との共催の漢字、かな、篆刻、刻字の公募書展 主催：横浜書作協会 4月 第26回 横浜彫塑研究会 彫刻展 [1階] 4/6～4/12 10:00～18:00 ※初日13:00～、最終日～12:00 人体による立体表現を求め、制作を続けるグループの作品40点 主催：横浜彫塑研究会 横浜市民ギャラリー-U35若手芸術家支援事業 [地下1階] 宇平剛史個展「Unknown Skin」 4/7～4/17 10:00～18:00 人の肌がもつ無限の肌理を、高精細のグレースケール写真で提示 主催：宇平 剛史 共催：横浜市民ギャラリー 第43回 浜美術連盟絵画展 [2階] 4/13～4/18 10:00～17:00 ※初日13:00～、最終日～12:00 各地域の絵画サークルが集い水彩・油彩他の作品を展示します 主催：浜美術連盟 第88回 県展 [全館] 4/28～5/3 10:00～18:00 ※最終日～14:00 油彩、日本画、水彩、工芸、立体、写真、ドラマ、ジュニア650点 主催：神奈川県美術協会	5月 第24回 みなとみらいフォトサークル 写真展2021 [地下1階] 5/4～5/9 10:00～18:00 ※初日14:00～ 会員一人一人が各々のテーマで撮影した、風景、花等54点 主催：みなとみらいフォトサークル 公募 みずる展 [3階] 5/4～5/9 10:00～17:00 ※初日13:00～ 水彩画、パステル画、20号以上約100点展示する公募展 主催：爽斎美術協会 ブルーベイヨコハマ展 [2階] 5/4～5/10 10:00～17:00 ※初日13:00～、最終日～14:00 JPA会員で関東近郊の会員写真展、展示巾1.5m位で作品自由 主催：一般社団法人 日本写真作家協会 第38回 現代かながわ美術展 [2階] 5/11～5/15 10:00～18:00 ※初日13:00～ 油画・陶芸・彫刻・七宝・版画・能面・布・水彩・ガラス等40点 主催：現代かながわ美術協会 第52回 彩象展 [3階] 5/11～5/16 10:00～18:00 ※初日13:00～、最終日～12:00 公募した油彩、日本画約70点を展示(優秀作品には賞状授与) 主催：彩象美術協会 第16回 横浜美術協会会員会友展 [全館] 5/18～5/23 10:00～18:00 ※初日13:00～ 洋画(油彩、水彩、アクリル、版画)、日本画、彫刻立体、写真を展示 主催：横浜美術協会グループヨコテン 第44回 ヨコハマ日曜画家展 [全館] 5/26～5/30 10:00～18:00 ※最終日～15:30 日曜画家の皆さんの公募展。出品作品を全て展示し35賞を授与 主催：特定非営利活動法人 横浜美術友の会 6月 第63回 二科神奈川支部展 [全館] 6/2～6/7 10:00～18:00 ※初日13:00～ 二科神奈川支部同人と神奈川に在学、在勤の方の作品約150点 主催：二科 神奈川支部
--	---

新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのお願い

- 来館前に予めご自宅等で検温をお願いします。発熱(37.5℃目安)又は風邪の症状のある場合は来館をお控えください。
- 来館時にマスク着用、検温、手指消毒又は石鹸による手洗いをお願いします。
- 利用者同士で最低1mの距離を保ってください。
- 館内での飲食はできません(水分補給は除く)。
- 万一感染者が出た場合に備えて、氏名、連絡先の収集にご協力ください。
- 十分な間隔をとっていただくため、各居室に入場できる人数に制限があります。
- ゴミはお持ち帰りください。
- エレベータは定員4名です。指定の場所に立ち、会話はご遠慮ください。

ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

詳細はホームページをご確認ください。

終読
わり
じゃない

satoricorpo.com

報告 & 予告 U35若手芸術家支援事業

横浜市民ギャラリーでは、将来を担う若手作家に対して発表の場の提供と支援を行うために、令和2年度から新規事業「U35若手芸術家支援事業」を開始しました。

市民ギャラリーで展覧会を開催しことがない35歳以下の方々を対象とし、「横浜市民ギャラリー」の共催名義のもと、展示室及びアトリエの利用料・付帯設備利用料の一部減免、広報協力を通して、創作活動を支援します。

第1回目は、泉桐子個展「WE CAN'T GO HOME AGAIN」を開催しました。(会期/2020年8月28日～9月6日 会場/横浜市民ギャラリー展示室B1)

YAG
U35
PROGRAM
横浜市民ギャラリー
U35若手芸術家支援事業

【泉 桐子 いずみこうこ】
1992年生まれ、神奈川県出身。武蔵野美術大学大学院日本画科を修了し、2019年より同大学日本画科非常勤講師を務める。主に日本画の題材である和紙や墨等を用いて絵画を制作。2018年初個展「天秤座の話」開催(東京/西荻窪・数寄和)。第七回日経日本画大賞展入選。
https://www.tokoizumi.com

今回は、宇平剛史個展「Unknown Skin」を開催予定です(会期/2021年4月7日～4月17日 ※詳細は左頁の「横浜市民ギャラリー展覧会スケジュール」又はホームページでご確認ください)。

みなさまのご来館をお待ちしています。

横浜市民ギャラリーでは、将来を担う若手芸術家の方々の創作活動の後押しの場になるよう、事業支援を行っています。

事業の詳細につきましては、ホームページ又は電話でお問い合わせください。

地域連携 紅葉ヶ丘まいらん

神奈川県立音楽堂、神奈川県立青少年センター、神奈川県立図書館、横浜市民ギャラリー、横浜能楽堂が連携し、イベントや地域の面白情報、お散歩ネタなどをSNSで情報発信!ぜひフォローをお願いします。

紅葉ヶ丘まいらん

まいらん

2021年 第43回 神奈美公募展

2021年4月14日(水)～18日(日) AM9:00～PM6:00 (最終日は4:00迄)

【会場】 神奈川県民ホールギャラリー 第4・5展示室 【応募資格】 15歳以上

【出品料】 油彩、水彩、アクリル、日本画、パステル、版画、染織、陶芸、ガラス工芸、創作人形、等 3点まで5,000円 (学生は3点まで2,500円)。

【搬入】 4月13日(火) AM9:30～11:00 【搬出】 4月18日(日) PM4:00～5:00

【授賞】 優秀作品には、神奈川美術協会賞、神奈川県知事賞、横浜市長賞等を授与。

「女優を描く」 神奈美デッサン会

2021年5月4日(火・祝) PM1:00～5:00 ★詳細についてはお問合せ下さい。

【会場】 かながわ県民センター 3階 304会議室 【参加定員】 30名 (要予約)

【内容】 衣装姿の固定ポーズを通常より長めの時間で一枚の絵を描きます。題材自由。

【特典】 女優さんが歌を2曲披露。【参加費】 1,000円 ★携帯イヤホンが必要。

〒246-0023 横浜市瀬谷区阿久和東 3-2-11 山本勝彦方
携帯 TEL 090-3104-9371 http://kanabi.on.cocoon.jp

神奈川美術協会 事務局

貸館担当から

横浜市民ギャラリーで展覧会を開催してませんか

横浜市民ギャラリーは、美術団体・グループの作品発表の場として展示室を貸し出しています。地下1階展示室は天井が高く(H3.7m(一部H4.7m))で、大型作品の展示が可能です。また面積が396㎡ある2階、3階展示室は1室でも、2室に分割してもご利用いただけます。利用方法や団体登録について、ホームページをご覧くださいとか、電話でお問い合わせください。

(お問合せ) 横浜市民ギャラリー Tel:045-315-2828
ホームページ (https://ycag.yafjp.org/) ▶施設のご利用

高い天井が人気の地下1階展示室
photo: takanori ogawa

催し物ピックアップ 横浜美術館 **最寄駅** みなとみらい線「みなとみらい駅」 JR-横浜駅西地下鉄「桜木町駅」

トライアローグ 横浜美術館・愛知県美術館・富山県美術館 20世紀西洋美術コレクション

2020年11月14日(土)～2021年2月28日(日) 10:00～18:00 *入館は17:30まで
休館日:木曜日(2021年2月11日を除く)、2月12日(金)

いま日本で観ることができる、珠玉の20世紀西洋美術が横浜に集結。それぞれの地域を代表する公立美術館3館が誇る西洋美術コレクションから、ピカソ、クレー、ミロ、エルンスト、ダリ、マグリット、ポロック、ペーロン、ウォーホル、リビターらの約120点の作品により、表現手法と概念の刷新が繰り返された20世紀の西洋美術の足跡をたどります。

3館のコレクションが競演する本展を通じて、欧米の近現代美術の粋をご堪能いただくと同時に、日本の美術館が競いあうように繰り返してきた西洋美術収集の軌跡と、その結果日本にもたらされた豊かな資産を再確認します。

また本展を最後に、当館は大規模改修工事のため2年を超える長期休館に入ります。この機会にぜひご来場ください。

※本展は日時指定予約制です。詳細はウェブサイトにてご確認ください。

[お問合せ] 〒220-0012 横浜市西区みなとみらい3-4-1
TEL 045-221-0300 FAX 045-221-0317 https://yokohama.art.museum/

ルネ・マグリット《王様の美術館》
1966年 油彩、カンヴァス
130.0×89.0cm
横浜美術館蔵

催し物ピックアップ 横浜市民ギャラリーあざみ野 **最寄駅** 東急田園都市線「あざみ野駅」 横浜駅西地下鉄

あざみ野フォト・アニユアル

「とどまってみえるもの」+横浜市所蔵カメラ・写真コレクション展「写真とプリント」

2021年1月23日(土)～2月14日(日)10:00～18:00 ※時間は変更になる可能性があります
休館日:1月25日(月)
横浜市民ギャラリーあざみ野 展示室1・2 入場無料

写真表現の現在を切りとる企画展と
横浜市所蔵カメラ・写真コレクション展を同時開催!

あざみ野フォト・アニユアル「とどまってみえるもの」

【出品作家】
宇田川直寛、川島崇志、本原結花、チバガク、新居上実、平本成海、吉田志穂
【コキュレータ―】
菅沼比呂志

現代の写真表現を紹介するシリーズ「あざみ野フォト・アニユアル」2020年度の企画展は、IT技術・製品が普及した環境で育ったデジタルネイティブ世代である7人の写真家を紹介します。2020年春、コロナ禍による外出自粛要請が広され、経済、社会、生活が大きな影響を受け、世界中に「ステイホーム(stay home)」「ソーシャルディスタンス(social distancing)」という言葉と様式が広がりました。これまでの撮影方法や手法にとらわれず、新たな表現に挑み続ける7人の「写真」をご堪能ください。

あざみ野フォト・アニユアル

横浜市所蔵カメラ・写真コレクション展「写真とプリント」

2020年度のコレクション展は、写真とプリントをテーマにコレクション約150点をご紹介します。19世紀に写真が誕生して以来、画質や色彩、扱いやすさや耐久性、複製のしやすさなどを追いつ求める写真家や技術者たちによって、次々と新たなプリントの技術が開発されてきました。技術の発展は、写真の用途を拡げ、被写体の選択や表現にも影響を及ぼしています。本展では、19～20世紀の様々なプリントの技法で制作された写真、関連の深いカメラや資料を通して、プリントと写真表現の関係性を探ります。

[お問合せ] 〒225-0012 横浜市青葉区あざみ野南1-17-3 アートフォーラムあざみ野内
TEL 045-910-5656 FAX 045-910-5674 https://artazaminoy.jp/

YOKOHAMA CIVIC ART GALLERY
横浜市民ギャラリー

横浜市民ギャラリーの総合情報誌
vol.70 2021年2月～2021年5月

アートヨコハマ
ART YOKOHAMA

70 2021.02～2021.05
Yokohama Civic Art Gallery
Art News Magazine

横浜市民ギャラリーコレクション展2021 うつし、描かれた港と水辺

このパンフレットは、カーボンオフセットにより制作に伴うCO2排出をゼロにしています。
エッセンシャル・オブ・オブジェクトの提供者: アズビル株式会社

泉田昌一《MM21(B)》1988年
エッチング、アクアチント 38.0×28.7cm

予 告

横浜市民ギャラリーコレクション展2021 うつし、描かれた港と水辺

昨年度中止となった同展を再度開催!

横浜市民ギャラリーには、約1,300点の所蔵作品があります。これらの作品の多くは、1964年の開館以来、企画展や国際展などの機に収蔵されたものです。特に国際展の折には地元作家を中心に横浜の風景を主題として新作を依頼することがたびたびあったことから、横浜の風景を描いた作品が当館のコレクションには数多く見られます。今回はその中でも、港や海、水辺を描いた作品を集めます。

横浜港をはじめ、外部との玄関口、物流の拠点である港、古くから絵画や文学で題材となってきた水辺は、人びとの生活に密着する存在、郷愁の対象の両方になり得ます。本展では横浜を中心に港や水辺をうつし描いた油彩、日本画、写真、版画など約50点をご紹介します。

また、横浜出身の日本画家・牛田雞村の『薫街の夕』『蟹船の泊』とともに『蟹港二題』より、『関内』(いずれも1926年作)を3点同時に展示します。絹に描いた繊細な絵画や開港期の書物等に取材した当時の風物をお楽しみください。

※本展は、昨年度予定していた同内容の展覧会が新型コロナウイルス感染拡大のため会期初日で開催中止となったことから、再度実施するものです。

※新型コロナウイルス感染拡大状況により、会期や開場日時などに変更が生じる可能性があります。

横浜市民ギャラリーコレクション展2021
うつし、描かれた港と水辺
2021年3月5日(金)～3月21日(日) 3月15日(月)休館
10:00～18:00(入場は17:30まで)
横浜市民ギャラリー展示室1、B1 入場無料
主催：横浜市民ギャラリー(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団/西田装美株式会社 共同事業体)



柳原良平『運上所と笑一番館』1978年 ポスターカラー、紙 72.1×102.4cm

五十嵐英吾『ハマの三塔』1953年 ゼラチンシルバープリント 47.6×31.9cm



由木礼『MM21 Plaza』1988年 木版(水性多色刷り) 64.7×46.6cm

田中孝『窓外港 朝』1988年 油彩、キャンバス 72.7×60.8cm

映像コンテンツ

●**出品作家インタビュー**
毎年おこなっている注目の企画。今年は版画家・柴田昌一氏のインタビューと、昨年度収録した洋画家・林敬二氏、写真家・西村建子氏のインタビューを同時上映します。
※横浜市民ギャラリーホームページでは、これまでのインタビュー動画を公開しています。

●**学芸員による見どころ紹介**
担当学芸員が展覧会の見どころをお話します。

●**鑑賞サポーターのPICK UP!**
ボランティアメンバーが出品作品の魅力をお伝えします。



林敬二『横浜港』1988年 油彩、キャンバス 91.0×116.0cm



三橋兄弟治『港にて』1940年 水彩、紙 57.0×74.7cm



牛田雞村『薫街の夕』『蟹港二題』より』1926年 絹本着彩 63.0×112.8cm

横浜市民ギャラリーゆかりの作家たち vol.20 柴田昌一

柴田昌一さんは1935年、横須賀市生まれ。1960年に武蔵野美術学校(現・武蔵野美術大学)を卒業しました。初期には平面に加え電気仕掛けの大きな立体作品等も制作していましたが、銅版画家の加藤清美氏の作品に出会ったことから、同氏の技法書を頼りに銅版画に取り組み始めます。また、聖坂養護学校に1967年の設立前から関わり、後に同学校長、現在は理事長を務めています。教職の一方で発表を続けており、1997年には『版17』という版画家のグループを結成し2020年まで継続して展覧会をおこないました。

クリスチャンである柴田さんは聖書の世界観を基盤に、エッチングやアクアデントを主に用いて、人間がもたらす自然破壊の不安と自然秩序復活への祈りをテーマに制作してきました。本作は1988年の『横浜・上海友好都市提携15周年記念 横浜美術展・横浜百景展』のために制作したものです。当時は、みなとみらい21地区にはこれほど多くの建物は完成していませんでした。大きな月が浮かぶ闇夜を背景に、手前に描かれた日本丸に似た帆船は停泊しているのでしょうか。人の姿が見えない街の上をカモガが飛び交う、現代的でありながら幻想的で静謐な風景が描かれています。



柴田昌一『MM21 (B)』1988年 エッチング、アクアデント 38.0×28.7cm

【関連イベント】

●**ワークショップ**
「木版画摺り体験 摺りであらわす水辺の情景」
3月6日(土)14:00～16:00
会場：4階アトリエ
講師：関 淳一(横浜美術館首席エデュケーター)
対象：小学生以上(小学生は保護者同伴)
定員：15名(抽選)
参加費：500円
申込締切：2月20日(土)必着
事前申込制(詳細は当館ホームページをご確認ください)
ばかし等特有の技法を使って複数の版を和紙に摺り重ね、木版画体験。

●**ハマキッズ・アートクラブ**
「横浜市民ギャラリーまるごと探検ツアー」
3月14日(日)10:30～11:30
対象：小学3～6年生
定員：10名(抽選)
参加費：500円
申込締切：2月23日(火・祝)必着
事前申込制(詳細は当館ホームページをご確認ください)
コレクション展会場や、作品収蔵庫などバックヤードをめぐるツアー。

その他のイベントは決まり次第当館ホームページにてお知らせします。

報 告

ハマキッズ・アートクラブ

2020年1～12月

幼児・児童を対象とするハマキッズ・アートクラブでは、「自分で考え、自分ででき、自分でする」ことを大切に、4階アトリエで造形講座を開催しています。2020年は新型コロナウイルスの影響で多くの講座が中止となりましたが、下記のとおり4回実施し、あわせて74名の子どもたちが参加しました。

幼稚園・保育園の年長さんを対象とした講座では、翌年には小学生になる子どもたちが、最初から最後まで自分なりにやってみることに挑戦しました。「つかれたよ～」と言いながらも粘土を一生懸命捏ねたり、いろいろな国の音楽を聴いて、その音をリズムにのって線で描き表してみたりと、初めての体験にチャレンジしました。

現在は感染症の拡大状況に応じた感染対策を行い、安心してご参加いただける環境を整えて講座を実施しています(詳しくは本頁下部をご覧ください)。2021年もたくさんの子どもたちへ会えることを楽しみにしています!

*2021年4月以降の講座は、3月中旬にチラシやホームページでお知らせする予定です。

- 1 「スチロールアート」1/19 講師:川崎和美 小学1～3年生:25名
 - 2 「粘土をつくらう」2/16 講師:大竹美佳 年長児:26名
 - 3 「油絵に挑戦!」11/28 講師:東麻奈美 小学4～6年生:14名
 - 4 「声を描いてみよう!」12/6 講師:扇谷一穂 年長児:9名
- ※2020年3月～9月の講座は、新型コロナウイルスの影響により開催中止。



スチロールアート



粘土をつくらう



油絵に挑戦!



声を描いてみよう!

感染症対策について

アトリエ講座では、みなさんに安心して参加していただけるよう、主に以下のような対策を行っています。ご理解、ご協力くださいますようお願いいたします。

- 感染症の拡大状況や講座内容に応じて、適切な定員に調整
- 講師・参加者・スタッフの手指消毒、マスク着用*、互いの距離確保 *幼児の場合は講座内容や年齢によります。
- 材料・道具類の個別用意、消毒

報 告

大人のためのアトリエ講座

2020年度後期

クリエイティブな時間を過ごす 大人向けの講座

横浜市民ギャラリーでは、創作活動やレクチャーを体験することができる「大人のためのアトリエ講座」を開講しています。2020年度前期の6講座は、新型コロナウイルスの影響により中止となりましたが、後期は「新しい生活様式」を守りながら、講座を実施しました。

※2021年4月以降の講座は、3月中旬にチラシやホームページでお知らせする予定です。

- オープンスタジオ・人体クロッキー(着衣)**
Aコース
2020年11/19, 11/26, 12/3, 12/10
参加者:15名
- オープンスタジオ・人体クロッキー(着衣)**
Bコース
2021年1/21, 1/28, 2/4, 2/11
(2021年2月1日現在、実施中)



オープンスタジオ・人体クロッキー(着衣)Aコース

予 告

詳細・申込方法は、当館ホームページをご覧ください。電話でお問い合わせください。
(横浜市民ギャラリー・045-315-2828)

感染拡大状況等により、中止または定員を変更する等して開催する場合があります。

写真が〈魔術〉だったころ

―最初期の写真・ダゲレオタイプ(銀板写真)講座+映像詩『オシラ鏡』上映会

ダゲレオタイプを使った表現を続けてきた新井卓氏をお迎えし、世界初の写真術による制作をはじめたきっかけや、銀板写真の魅力に迫るお話がうかがえます。

2021年2/13(土)14:00～16:00

講 師 新井卓(写真家、アーティスト、映画作家)
定 員 20名(応募多数の場合は抽選)
参加費 1,500円
申込締切 2021年1/30(土)必着

※締切後、当選の連絡を受けた方が講座に参加できます。



「2011年6月6日 寛川高原の馬」ダゲレオタイプ、25.2×19.3cm、個人蔵

はじめての日本画 絹に描く

―若沖の彩色に学ぶ

古くから日本絵画に使われてきた絹に、墨や岩、膠絵具を使って絵を描きます。

2021年2/20(土)・2/27(土)
各日10:30～12:30

講 師 武田裕子(日本画家)
定 員 15名(応募多数の場合は抽選)
参加費 9,000円(材料費全、2回分)
申込締切 2021年1/27(水)必着

※締切後、当選の連絡を受けた方が講座に参加できます。



講師参考作品

報 告

新・今日の作家展2020 再生の空間

“今できること”を探る

「新・今日の作家展2020」では、「再生の空間」をテーマに国内外で活動する二人の作家により構成し、計18点を展示しました。

地主麻衣子さんは、影響を受けてきた小説家ロベルト・ボラーニョの、別れた恋人への想いを綴った詩をモチーフとした作品をはじめ、身近な、あるいは時間的、空間的に隔てられた対象とのコミュニケーションのかたちを考察する4つの映像作品を展示し、コロナ禍における人や文化の交流の可能性を問うような空間をつくりました。山口啓介さんは、10人の作家が共同で制作した「地球・爆」より自身の作品を中心に、伊坂義夫氏、市川義一氏、岡本信治郎氏らによる共作、「地球・爆」の制作過程を伝える書籍やエッセイといった資料、東日本大震災以降、書き続けている『震災後ノート』、『方舟』シリーズの直近のドローイングを展示し、出来事や問題に進行形で向き合う視点を提示しました。

関連イベントは、各出品作家とゲストによる対談をおこない、出品作家の現在にいたる活動や作品、今回の展覧会について、理解を深める機会になりました。対談は動画収録し、イベントに参加できなかった方に向けて期間限定でオンライン公開しました。またオンラインコンテンツとして、出品作家によるギャラリートークを撮影し、会場風景とともに地主さんと山口さんがそれぞれ制作について語る動画を公開しました。

今回の展覧会では、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、入館時の検温や入場制限、館内の消毒など必要な対策を講じ、来場者が安心して作品を観たり、関連イベントに参加したりすることができる環境づくりを徹底したことにより、各々のペースで丁寧に鑑賞される方が多くみられました。また同時期に開催されていたヨコハマトリエンナーレ2020や黄金町バザール2020を訪れた方たちの来場もあり、展覧会は盛況のうちに終了しました。



地主麻衣子 展示風景 photo:Ken KATO



地主麻衣子(Lip Wrap / Air Hug / Energy Exchange) 2020年 展示風景 photo:Ken KATO



地主麻衣子『メキシコシティの探偵』2020年 展示風景 photo:Ken KATO



山口啓介 展示風景 photo:Ken KATO



山口啓介『歩く方舟のfragment / water line』2019年 展示風景 photo:Ken KATO



山口啓介『震災後ノート』2020年3月11日以降 展示風景 photo:Ken KATO

【展覧会データ】
新・今日の作家展2020 再生の空間
2020年9月22日(火・祝)～10月11日(日)20日間 10:00～18:00
横浜市民ギャラリー 展示室1・B1
出品点数:18点
展覧会入場者数:2946名+関連事業参加者60名=合計3,006名

【関連イベント】
対談「電気まぶたの世代」
地主麻衣子×中尾拓哉(美術評論家)
9月26日(土)14:00～15:30 会場:4階アトリエ
対談「二つの、3月11日 / 震災後とコロナ後の世界」
山口啓介×徐京雄(作家、東京経済大学教授)
10月3日(土)14:00～15:30 会場:4階アトリエ

主催：横浜市民ギャラリー(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団/西田装美株式会社 共同事業体)



対談「二つの、3月11日 / 震災後とコロナ後の世界」左から、山口さん、徐さん

ご利用ください 送迎車サービス

桜木町駅⇄横浜市民ギャラリーを無料で巡回
おからの不自由な方、高齢者に配慮した無料送迎サービスです。
車いすのまま、ご乗車可能です。定員9名と限りはございますが、
どなたでもご利用いただけます。

※新型コロナウイルスの感染拡大状況等により定員減、運休の場合があります。必ず運行状況を事前にご確認の上、ご利用ください。
※ご利用の際には、マスクの着用をお願いします。

【送迎車時刻表】 JR桜木町駅発

9	45	10	10	30	50		
10	00	20	40	11	10	30	50
11	00	20	40	12	10	30	50
12	00	20	40	13	10	30	50
13	00	20	40	14	10	30	50
14	00	20	40	15	10	30	50
15	00	20	40	16	10	30	50
16	00	20	40	17	10	30	45
17	00	20	40	18	00		

※運行時刻は9時45分桜木町駅発、18時00分横浜市民ギャラリー最終発です。ただし展覧会初日と最終日や展覧会の利用時間によっては、始発・最終発の時刻が変更となったり、運休する場合がありますので必ず事前にホームページでご確認ください。※横浜市民ギャラリー主催の展覧会開催中は、全ての便を運行します。※第3月曜日・年末年始は休館日のため運行がありません。また、展示のない日も全便運休です。※交通事情、天候、施設状況等により運行が変更になる場合があります。

JR桜木町駅東口タクシー乗り場付近から出発 ※下記地図をご覧ください。



横浜市民ギャラリー
〒220-0031横浜市西区宮崎町26-1
TEL 045-315-2828 FAX 045-315-3033 <https://ycagyafjp.org/>
10:00～18:00(入場は17:30まで) 毎月第3月曜日・年末年始休館
<https://facebook.com/ycag1964> [@ycag1964](https://twitter.com/ycag1964)

- 電車**
- JR・横浜市営地下鉄「桜木町駅」から徒歩10分 ※紅葉橋交差点を過ぎて左斜め①の道を進みます。
 - 京急「日ノ出町駅」から徒歩8分 ※野毛坂交差点を戸部方面に右側歩道を進み②の坂道を上ります。
- バス**
- 市営バス103-292系統「戸部1丁目」から徒歩2～4分 (横浜駅方面から103系統に乗り、戸部1丁目下車すると徒歩2分)
 - 市営バス89系統「野毛坂」から徒歩4分
 - 市営バス8-26-58・101-105-106系統「紅葉坂」から徒歩7分